

庭園美術館 (ルネ・ラリック展)～目黒区名所旧跡巡り

主催：東京都日中友好協会 文化交流委員会

共催：目黒区日中友好協会

- 日時：2020年2月29日(土) 午前10時 目黒・庭園美術館 集合 (港区白金台5-21-9) JR、東急「目黒駅」徒歩7分ないし都営三田線・東京メトロ南北線「白金台駅」1番出口より徒歩6分 午後3時30分ころ目黒不動で解散
- 行程：10:00 庭園美術館 ルネ・ラリック展見学 東急目黒線「不動前」へ移動 天台宗「行元寺」(ご住職：豊道溪峻師は東京都日中友好協会書道部会長)～13:30「海老民」(二ノ宮啓吉会長：目黒区日中友好協会会長のお店)で昼食 ～たこ薬師～14:30 目黒不動(講話)解散(渋谷駅ないし五反田駅へバスあり)
- 募集人数：30名 お申し込みは東京都日中友好協会へ
- ◆参加費：1人 2,500円(当日集金)
ルネ・ラリック展見学と昼食代 《交通費は各自自弁で》 ※65歳以上の方は証明できる物をご持参下さい。

■庭園美術館・ルネ・ラリック展：ガラスを素材としたエレガントな作品の数々で、アール・デコの時代を切り開いたルネ・ラリック(1860-1945)。アール・ヌーヴォーの時代にジュエリーを手がけていた頃から、貴石に代わる新素材としてガラスを用いていたラリックは、20世紀に入ると、芸術性と実用性を兼ね備えた独自のガラス作品によって、新時代を創出しました。透き通る光の清らかさや貴金属を思わせる重厚な輝きなど、ラリックのガラス作品にはフランス装飾美術の精神「ラール・ド・ヴィーヴル(生活の芸術)」が豊かに受け継がれています。本展は、世界屈指のガラス・コレクションを有する北澤美術館所蔵のルネ・ラリック作品より、アール・デコの時代を代表する名品約220点を厳選し、正面玄関ガラスレリーフ扉など、ラリックの作品が内部を飾る「アール・デコの館」旧朝香宮邸を舞台にご紹介するものです。

■行元寺(天台宗) 東京都日中友好協会書道部会長：豊道溪峻師の寺院を訪問。故・豊道春海師の作品も鑑賞。

■たこ薬師：成就院のシンボルであるタコは、身の危険を感じると墨を吐く習性を持ち、暗闇でも見える目を持つ生き物とされ、これにあやかり眼病を治すと云われ、吸盤により幸福を吸い寄せるご利益があると云われています。

■目黒不動：関東最古の不動霊場として、熊本の木原不動尊、千葉の成田不動尊と併せて日本三大不動の一つに上げられます。江戸時代には、江戸城守護、江戸城五方の方難除け、江戸より発する五街道の守護に当てられ、五色不動(目黒・目白・目赤・目黄・目青)のひとつとして江戸随一の名所となり、さつまいもの栽培を広めた食料の恩人、青木昆陽先生は蘭学者・文化人としても日本社会に貢献し、目黒の土地を愛して、自ら『甘藷先生墓』と書きました。そのお墓が今は国の史跡となっております。

◇参加申込：下記へFAXないしメールにて東京都日中友好協会事務局まで2月25日までに申し込み下さい。

e-mail to-nicchu@jcfa-tyo.net

FAX番号：3295-8255

FAX通信

2月29日の庭園美術館+目黒名所巡りに参加します

■お名前、

※65歳以上の方はチェックをお願いします。

■連絡先、電話

FAX

e-mail